

九州共立大学 中期計画（6ヶ年）〔平成22年度版〕

（期間：平成20年度～平成25年度）

中期計画				年度計画
重点課題	事業方針	事業目標	部局の施策	業務・事業
学生確保	入試の多様化と募集広報の充実	大学の特色を知った高校生から社会人の入学希望者が増加する	入学後から卒業までの満足度向上とサポート	・D P、C P、A Pの策定及び結果のホームページ上での公開
			受験しやすい環境づくり	・受験者実績数による入試地方会場の見直し ・入試要項の見直し
			大学に関する理解促進	・本学の強みについての高校向け広報を強化 ・インターネットを活用した広域広報の強化 ・オープンキャンパスに向けたバスツアーの実施
教育活動	教育機能の充実	価値の高い教育が受けられ、設定した学習目標が達成される	教育専門能力の向上	・内部、外部教員による「模擬授業研修会」の開催 ・F D指導機関の設置
			授業の充実	・Webの積極的利用と導入（授業記録の公開、ゴーイングシラバスの活用） ・シラバスの改善、向上（カリキュラムコーディネーターの設置） ・出席管理システム体制の運用 ・成績評価の公正、厳正化（G P A）
	教育組織の充実		・既存教育支援組織の円滑な運用と効率化を目指した再編成と教育支援機構設置に向けた調査及び検討 ・共通教育センターの設置及び運用体制の確立	
	学習サポートの充実		・入学前学習サポートの実施（初年次教育との連携、スクーリング、課題作文添削、入学前の質問等対応） ・図書館での新生生に対する情報リテラシー教育の実施 ・学習意欲向上のための学習支援センター誘引促進（やる気、理解度支援） ・資格取得支援における学部教育との連携強化 ・大学施設等の利用促進（キャンパスマイレージ制度の創設と運用）	
	教育支援の充実		カリキュラム、プログラムの充実	・資格取得のためのニーズに応える新カリキュラムの充実
学生支援	学生生活支援の充実	授業以外の学生生活が貴重な時間として活用できるための機能を充実させる	健全な学生生活環境の提供	・オリエンテーションの充実（帰属意識の醸成、仲間作り、退学者防止に関する取組み、在学生のフォロー）
			施設設備の充実	・学内福利厚生施設の運営充実
			人間形成の支援	・ボランティア活動の取組みの充実（学生スタッフの育成等）
			学生ニーズの組織的な聴取	・学生の代表と定期的に意見の聴取や懇談を行う（キャンパスミーティング）
キャリア支援	社会の期待に応えられる人材の輩出	社会が求める能力を持ち、建学の精神を理解した人材を輩出し、進路を決定する	少人数個別指導の徹底	・キャリアシートの実施徹底
			就職相談能力の充実	・現代G P『生涯キャリア開発型教育システムの構築』の継続及び「社会人基礎力」の醸成（C P S座談会やキャリア形成の研修会及びシンポジウム等による就職意識の向上） ・プ推進協議会への参加強化）
			就職決定意識の啓発	・特別就職プログラムの導入、充実（社会人による講座の充実を含む）
			就職活動支援の強化	・就職活動準備の集中講座開講
推研進究	産学官の連携	外部資金の積極的活用	共同研究及び受託試験等の促進	・総合研究所として整備充実を図り、先端技術等の総合研究を推進する ・大学研究紀要の見直し

中期計画				年度計画
重点課題	事業方針	事業目標	部局の施策	業務・事業
国際化	国際化への対応	世界各国との交流が活発であること	協定校との交流拡充	・留学生支援体制の充実
教職員	事務等の効率化・合理化 人事の適正化	教育研究支援のための事務体制が構築されていること	事務組織の機能・編成の見直し	・職員のより必要性の高い分野への再配置や事務組織の再編等により、事務機能の高度化を図る
		教職員の採用・昇任の方針が明確に示され、かつ適切に運用されていること 評価結果が教育研究に反映されていること 職員の資質向上のための取組みがなされていること	教員の人事評価	・教員の人事評価等について、大学全体の共通の評価項目等の基本的な枠組みを構築する
			教員の昇任基準の明確化	・大学における教員の昇任基準について、昇任の公平性をさらに高めるため、各学部既存する昇任基準の平準化を図る
			事務職員等の人事評価	・事務職員等の人事等評価について、民間企業等における人事考課制度を参考にしつつ、合理的な評価システムを構築する
			評価結果の活用	・評価結果は、給与等でのインセンティブ付与や任期付き教員の再任審査の基本的項目の一つとして、審査に反映させる等の仕組みを設ける
事務職員等の人事制度	・事務職員等の資質向上のため、階層的研修を含め、研修の充実を図り、大学運営の中核を担い得る事務職員等を育成するための人事システムを構築する			
管理運営	管理運営の改善及び効率化	管理運営体制が整備されており、適切に機能していること	効果的・機動的な運営	・各種委員会については、全学的な意志決定を効果的機動的に行える体制を整備する観点から、各種委員会の見直し、再編を行う ・事務情報化を推進するとともに、設置大学内の一元化を図る
		管理部門と教学部門の連携が適切になされていること	教員・事務職員等による一体的な運営	・各種委員会に事務職員等が参画し、一体的な運営を図る
	社会的責務	財務情報の公開が適切な方法でなされていること	情報公開等の推進	・財務内容の状況に関する情報を積極的に社会に還元する
危機管理の体制が整備され、かつ適切に機能していること		危機管理体制の整備	・各種災害等の防止のための責任体制を明確にするとともに、その防止に関する対策を推進する	
財務	財務内容の改善	財務内容の改善が図られていること	経費の抑制	・教育、研究の充実を図りつつ、効率的な大学運営の仕組みを構築し、管理運営経費の抑制を図る
			資産の運用管理	・中期財政計画を策定する
教育研究環境	教育研究環境の整備・充実	図書館機能が充実し、利用者サービスの向上が図られていること	附属図書館の整備と活用	・新しい学術情報の在り方に適応する機能を整えるとともに、利用者のニーズに応じて効果的なサービスを提供する
		必要なキャンパスが整備され、適切に維持、運営されていること	計画的な施設整備と既存施設設備の有効活用	・施設設備や情報基盤等の教育環境を整備充実する
地域貢献	地域社会発展への貢献	地域の高等教育機関・地域交流の場として機能する	地域企業・他大学との連携	・地域大学との授業交流（大学コンソーシアム開門）
			高大連携強化	・系列高校との連携 ・近隣高校との連携拡大
			地域の生涯学習機会の充実（大学施設の開放等）	・公開講座プログラムの拡充 ・行政、地域団体との連携強化 ・ボランティア活動支援強化及び主催事業の推進
		大学の教育研究成果を公正かつ適切に学内外に広報活動する体制が整備されていること	情報公開等の推進	・「生涯学習研究センター人材バンク」の整備と拡充